



上渚滑小だより

学校教育目標☆☆ 「めあてに向かって進んでチャレンジする子」
 ☆☆考える学習 ☆☆知る喜び ☆☆健康増進 ☆☆交通安全 ☆☆環境学習

令和4年度学校評価（後期）の結果 校長 泉 次郎

上渚滑小学校では教育活動その他の学校運営について、その達成状況や達成に向けた取り組みの適切さ等を評価することにより、改善に向けた方策を立て、上渚滑小学校の学校教育目標の実現を目指しています。「めあてに向かって進んでチャレンジする子」を育てるという目標が全ての教育活動とつながり、計画→実践→評価→改善という流れで進めています。年2回実施し、学校改善につなげていきます。12月に実施しました後期の学校評価の概要をお知らせします。

《1 教職員の自己評価》

「今年度の重点」を中心に日常の教育活動について振り返り、18の設問について評価しています。その結果、評価の高かったものとして、次の11項目があげられます。

	評価項目	評価平均 (4点満点)
1	日々の授業において、他者の意見を取り入れながら、自分の考えを言葉で表現する場面を設定し、指導を行いましたか。【今年度の重点目標】	3.67
2	日々の係活動や行事で、他者の意見を取り入れながら、自分の考えを言葉で表現する場面を設定し、指導を行いましたか。【今年度の重点目標】	3.67
3	授業前の準備や着席、人の話を集中して聞くように指導を行いましたか。	3.67
4	1単位時間の中で「つけたい力」を明確にして、授業を進めていましたか。	4.00
5	授業内容と関連した宿題を毎日出していましたか。	3.80
6	特別支援学級担当者と交流学級担当で指導方法について共有し、児童の指導に役立てていましたか。	3.75
7	いじめや登校渋りなど、児童が困ったときに相談できるような関係づくりに努めていましたか。	3.57
8	学校のきまりや交通ルールを守るように指導していましたか。	3.71
9	必要なときは適宜連絡を行うなど、保護者との信頼関係づくりに努めていましたか。	3.71
10	学級通信等で、学級の実情や課題、活動のねらいや協力してほしいことなど保護者や児童がわかりやすいように表現等を工夫し伝えていましたか。	3.57
11	新型コロナウイルス感染症への感染防止の取組や指導など学校の統一した取組をきちんと行っていましたか。	3.75

また、改善への検討を要するものとしては、次の1項目があげられます。

	評価項目	評価平均 (4点満点)
1	チャレンジテストの結果を踏まえた学び直しを授業で行っていましたか。	3.00

チャレンジテストの学び直しは、夏休み明けと冬休み明けに再度同じ問題に取り組み、児童の定着の様子を確認しました。前期よりも評価は上がっていますが、授業での指導に生かすことについて、更なる改善が必要です。学年末から次年度に向けて授業改善に取り組んでいきます。

《2 保護者アンケート》

	評価項目	評価平均 (4点満点)
1	学校は、学校だよりをはじめとした各種通信など（ホームページ、学級通信、PTA総会、学級懇談会など）で教育方針や子どもたちの様子をわかりやすく伝えていましたか。	3.63
2	学校は、日々の教育活動の中で、児童が自分の考えを言葉で表現することができるように指導をしていましたか。【今年度の重点目標】	3.63
3	学校は1人1台端末（クロムブック）を活用し、学習内容が定着するように授業を進めていましたか。	3.50
4	学校は、習ったことの定着や予習など、授業内容と関連した宿題を出していましたか。	3.63
5	お子さんは、友達と仲良くしたり、協力して学校生活を送ることができましたか。	3.63
6	お子さんは、家庭や学校で読書をする習慣が身につけていましたか。	2.63
7	お子さんは、嫌なことがあったり、困ったときに先生に相談することができましたか。	3.13
8	お子さんは、早ね・早起き・朝ごはんなど規則正しい生活を送ることができましたか。	2.88
9	お子さんは、家でのきまり（ゲーム時間や就寝時間など）や交通ルールを守って生活を送れましたか。	2.50
10	学校は、新型コロナウイルス感染症への感染防止の取組み（授業スタイルや消毒作業など）についてわかりやすく伝えていましたか。	3.38

（分析）

- 評価が比較的好かったものは、設問1、2、3、4、5です。家庭でのご協力もあり、よい評価となりました。次年度以降もねらいを意識して取組を続けたいと考えています。
- 課題がみられるものは設問6、8、9です。
 - ①設問6の読書習慣については、前期の結果もあまりよくありませんでした。学校でのタブレット端末の活用が進む一方で、読書活動の時間がどうしても確保が難しくなる現状があります。次年度以降は朝読書の時間の充実を図り、読書習慣の定着を目指していきます。ご家庭でもお子さんへの声かけと一緒に読書するなど、ご協力をお願いします。
 - ②設問8の規則正しい生活習慣は、学習や遊びなど子どもが健やかに成長していく上で大切です。発達段階に応じて、今後も学校でも指導をしていきますので、ご家庭でもご指導いただきますようお願いいたします。

※裏に続きます

③設問9のきまりを守る意識は、児童本人が自ら高められるように学校と家庭で連携して取り組むことが効果的です。児童が事故にあわないように交通ルールを守り、生活のきまりを守るように、今後ともご指導・ご協力をお願いいたします。

《3 児童アンケート》

	評価項目	評価平均 (4点満点)
1	授業や係活動などで、自分の考えを伝えるように言うことができましたか。 【今年度の重点目標】	3.46
2	授業が始まる前に、準備をして着席して待つことができましたか。	3.50
3	授業中に人の話をきちんと聞くことができましたか。	3.62
4	宿題や家庭学習にきちんと取り組めましたか。	3.54
5	クロムブックを使うことにより、授業の内容はわかりましたか。	3.77
6	友だちとなかよくしたり、協力したりすることができましたか。	3.62
7	いやなことがあったり、困った時に、先生に相談することができましたか。	3.54
8	体育の授業や休み時間に進んで運動することができましたか。	3.77
9	早ね・早起き・朝ごはんなど規則正しい生活を送ることができましたか。	2.77
10	学校のきまりや交通ルールを守ることができましたか。	3.85
11	学校や家で進んで本を読むことができましたか。	2.85

(分析)

- 評価が比較的良かったものは、設問2、3、4、5、7、8、10です。次年度以降も児童1人1人が成長できるように、評価結果に安心することなく継続して指導していきます。
- 課題がみられるものは設問9、11です。
 - ①設問9の規則正しい生活習慣は運動や学習などの基盤となります。よりよく成長するためにも、大切だと考えます。学校でも引き続き指導しますが、ゲーム等で夜遅くまで起きていることがないようにご家庭でもご指導をお願いいたします。
 - ②設問11の読書習慣については、読書が楽しいと思える活動が大切になります。次年度以降、学校でも読書活動の充実を図っていきます。

《4 学校運営協議会から》

先日2月20日(月)に学校運営協議会を開催しました。その中で学校評価結果に関わってのご意見を紹介します。

- ①読書習慣を定着させることは、時間がかかると思われるが、移動図書等の活用も引き続き進めていき、読書習慣の定着を図ってほしい。
- ②タブレット端末の活用は調べ学習や学習ドリル、意見交換など様々な活用がある。今後も効果的な活用方法を進めてほしい。

(今後に向けて)

われわれ上渚滑小学校職員は「めあてに向かって進んでチャレンジする子」を育てるという教育目標のもと、校長が年度当初に示した重点目標を達成するために様々な教育活動を実践してきました。今年度は保護者や地域の方々のご協力のもと様々な教育実践を積み重ねることができました。次年度も日々の教育活動における学校や各学級担任の思いや願い、考えを誠実に伝えていくとともに、児童の思いや保護者の思いや願いを受けとめていきたいと考えています。そのために、様々な機会を通じて、保護者の皆様と連携を深める

ように努めてまいります。年度末を迎えますが、次年度も上渚滑小学校の活動にご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

令和4年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について

令和4年6月に実施した「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果が届きました。小規模校のため、概要のみお知らせいたします。

中休みや昼休みの運動習慣、マラソン大会等、運動する機会も確保できており、結果にも反映しています。また“運動が好き”や“運動が大切”だと認識しています。

☆調査結果を分析し、児童一人一人に付けたい力を明確にし、今後の教育活動に生かしていきたいと思えます。